大阪市教

2024年 10月3日
VOL. 617
（一部30円。 購読料は組合費に含む）

大阪市教　教研集会
講演　平井美津子さん
分科会　教室レク、算数、ヨガ
10月19日(土) 13：30
大阪市教育会館

発行　大阪市学校園教職員組合　大阪市中央区法円坂1－1－35(大阪市教育会館内)
TEL 6910-8700 https://osaka-shikyo.org/
FAX 6910-7990 E-mail o-sikyo1@sea.plala.or.jp

九条の会

市民と野党の共闘で 憲法守る 政治を変える

九条の会・おおさかは9月16日、講演と交流のつどいを開き、「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」共同代表の菱山南帆子さん（1989年生）が講演しました。

総裁選一色の裏側で裏金問題をうやむやにする一方、戦争の準備を進めながら改憲で一致する自民党政治の現状を告発しました。

「国会外での新たな戦前」として、Jアラートと地下シェルターは「空襲警報と防空壕」と言うべきで、「九州・琉球弧における軍拡」の強行に危機感が広がっている。平等に給食費が無償化となった学校で「お前の父ちゃん基地反対、給食食べるな」と分断されている。

SNSで広がる冷笑主義

「国民はなぜ怒らない？」と問題提起し、SNSが怒りを奪い取っている、「怒りより楽な方へ」「組合費よりニーサに投資（転職サイト）」「怒ることは恥ずかしい？」との冷笑主義の（そんなことやったって無駄だよと自分の心を慰める）役割を指摘しました。都知事選挙「石丸現象」、維新が良いと思ってしまう理由についても言及しました。

自公政権、維新と対決していくために私たちにできる事として、ジェンダー平等を実現することをあげました。石丸氏を応援する富裕層の男性たち。ジェンダー平等が実現される社会に戦争はない。若者の苦しみに耳を傾けることを呼びかけました。市民運動は孤独と不安を抱える市民の受け皿。総選挙が近づいており「戦争させない・9条壊すな！」市民と野党の共闘で自民党政治を終わらせようと呼びかけました。

日本母親大会

核も基地も原発もない平和な日本を

ビキニ水爆被災70年の節目の今年、第69回日本母親大会が和歌山県で初めて開催されました。9月28日、29日の2日間でオンラインも含めて延べ1万1500人が参加しました。

記念講演は水爆実験で被災した第五福竜丸の展示館学芸員安田和也さん。世界各地で繰り返された核実験は2千回を超え環境を破壊し被爆者を生み出しているという事実などを詳しい資料をもとに話し安全だとだまされ核実験の後処理を行い被爆した米兵が、軍医は信じられないと広島の民医連の医師を頼り治療を受けたこと、「核兵器は人を幸せにはしない」と言葉を残し亡くなったことを涙ながらに語りました。

万博反対！やカジノIRの反対など全国各地の運動の交流や人類すべての幸せを願う日本国憲法の歌などで満員の会場は熱気に包まれ、核も基地も原発もない平和な日本の実現を目指して行動するための139項目の決議が採決されました。

総合教育会議

ICT教育押し付け 中学校統廃合

市長が招集し政治が教育に介入する大阪市総合教育会議が9月10日に行われました。

議題「教育ICTの今後の展開について」では、本市小中学校の学習者用端末の活用の状況が「全国と比較して低調（小…マイナス23・4（ポイント）、中…マイナス28・5（ポイント））であり、今後、さらなる教育ICTの活用推進を行っていく必要がある」としました。

内閣官房教育再生実行会議技術革新ワーキング委員、経産省未来の教室とEdTech研究会座長代理の経歴を持つ、佐藤昌宏特別顧問が「意見」を提出しました。「市長のリーダーシップのもと、これまでの教育を前提とせず、テクノロジーの進化が普及した未来、教育はどうなるのか、というテーマに特化した自由な議論の場を民間企業、技術者、研究者など幅広い視点でおこなうべき」とし、営利化をさらに進めようとしています。世界で広がる「教育DX」の見直しに逆行しています（『おおさかの子どもと教育』24年9月号参照）。

「中学校における学校配置の適正化の今後の進め方について」も議題とされました。「中学校についても…進める必要がある」とし、小学校同様条例により規定化するとしました（「まずは5学級までの学校を」24年1月適正配置審議会）。

おつかレインボー音楽講座♪♫

第6弾音楽講座（9月20日港・南支部）では学習発表会や音楽会、学習参観の合唱指導のポイント、美しい歌声を響かせるための具体的な指導者の声かけや、頭声的発声に近づける具体的な指導方法を学ぶことができました。おすすめ合唱曲の紹介や、十分時間をかけられない中で合奏をするときのポイントも聞くことができました。

東南・東部支部は、9月28日第10回おつかレインボーを開催し、12人が参加しました。美味しいバーベキューを楽しみながら対話・交流を深めました。移動して行ったカードゲームは、生歌も楽しめて好評。

初参加者からも職場の苦労話を聞いてもらえすっきりした、楽しかった、との声が寄せられました。

市対連交渉

欠員小27人、中11人 教育条件改善を

大阪市対策連絡会議は9月27日教育行政についての交渉を行いました。

養護教職員部は就学時健康診断の実施医依頼が学校任せで、日程調整が困難を極め、「1つの学校でやるには破綻」と厳しく市教委の責任を追及しました。養護教諭複数配置を求めました。

女性部は妊娠障害休暇を14日間に戻すことを他府県市の状況も示し追及しましたが、「市職員の規則を適用」をくり返しました。産育休による欠員が9月1日現在小学校27人、中学校11人であることが明らかになりました。

障教部は特別支援学級が158学級減を追及。市教委は通級による指導は昨年635人、今年1512人、93校増え146校と答えました。

青年部・臨教部は「学力向上支援チーム事業」の研究授業の押しつけ（教科・回数）の実態を示し中止を求めました。

学校事務職員の待遇改善、働き方改革、食器、アレルギー対応など学校給食の改善、講師の給料表「2級」適用、子どもの貧困対策充実、就学援助制度の捕捉率の引き上げ、教育費完全無償化、学校統廃合反対・少人数学級実現等を主張しました。

子どもの貧困対策充実求める市会陳情

11月提出

仲間が増えた！

大教済加入が続く 教研参加をよびかけよう

大教済の加入が続いています。A分会はカフェを開催しました。今年組合に入った青年が熱心に声をかけ、加入しました。B分会では５人加入など、仲間がどんどん増えています。大教済を広め、組合加入へとつなげる取り組みをすすめましょう。

さて10月、11月は教研や文化行事が続きます。大阪市教の教研集会（10月19日）、大教組の教育のつどい（全体会10月26日・教科別分科会11月10日・問題別分科会11月24日）、北大阪文化とバザーのつどいなど、ぜひ職場の人に声をかけ、一緒に参加しましょう。共に学び、元気になって仲間を増やしていきましょう。

教え子を再び戦場に送るな！